● ラファエル・フリューベック・デ・ブルゴス（首席指揮者・芸術監督）

Rafael Frubeck de Burgos, Principal Conductor and Artistic Director

1933年、スペインのブルゴス生まれ。ビルバオとマドリッドの音楽院で、ヴァイオリン、ピアノ、及び作曲を学んだ後、ミュンヘン音楽大学で研鑽を積んだ。卒業後は、ビルバオ交響楽団の首席指揮者としてキャリアを開始。1962年から78年まで、マドリッドのスペイン国立管弦楽団の首席指揮者を務めた。その後、デュッセルドルフ市の音楽総監督、デュッセルドルフ交響楽団、モントリオール交響楽団の各首席指揮者を歴任。また、読売日本交響楽団やワシントン・ナショナル交響楽団とも首席客演指揮者として共演した。ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、日本、及びイスラエルで、100以上ものオーケストラと共演、また、ヨーロッパ、アメリカ、南アメリカで、オペラの指揮を行う。1991～96年には、ウィーン交響楽団の首席指揮者、1992～97年には、ベルリン・ドイツ・オペラの音楽総監督、1994～2000年には、ベルリン放送交響楽団の首席指揮者を歴任。さらに2001年には、トリノのＲＡＩ国立交響楽団の終身指揮者に任命された。卓越した芸術的功績により、スペインのナヴァラ大学とブルゴス大学から名誉博士号が授与され、1996年には、オーストリア共和国から「銀バッジ」が、国際グスタフ・マーラー協会から「金メダル」が贈られた。1997年には、スペインで最も権威ある音楽賞のハシント・ゲレーロ賞を受賞。翌1998年には、スペイン国立管弦楽団の名誉指揮者に任命された。

2003年、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者に就任。その翌年には首席指揮者及び芸術監督に任命された。これまで100を越えるレコーディングの中でも歴史に残る傑作は、メンデルスゾーンのオラトリオ「聖パウロ」と「エリア」、モーツァルトの「レクイエム」、オルフの「カルミナ・ブラーナ」、ビゼーの「カルメン」、スペイン出身の作曲家ファリャの全集などである。

● 千住 真理子（ヴァイオリン） Mariko Senju, Violin

2歳半より鷲見三郎氏に、11歳より江藤俊哉氏に師事。1973年全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位優勝。1975年第1回「若い芽のコンサート」でN響と共演し12歳でデビュー。1977年第46回日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。1979年第26回パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。1985年慶応義塾大学文学部哲学科卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、1987年フィルハーモニア管弦楽団定期演奏会でロンドンデビュー、88年サンタチェチーリア音楽院管弦楽団定期演奏会でローマデビュー。1986年ビクターと専属契約を結び、数々のヒット賞を受賞。1986～88年NHK大型報道番組「世界は今」で磯村尚徳氏と共にキャスターを務め話題となる。デビュー15周年を機に1990年より、自身のプロデュースによるリサイタルを開催し、『パガニーニ：24のカプリース全曲』を一夜で演奏するなど、日本各地やロンドン、プラハでも記念演奏会を行う。20周年を機に自身主催によるチャリティーコンサート活動を精力的に行っている等、社会活動にも関心を寄せている。一方、日本音響学会に属し、橘秀樹教授（東京大学生産技術研究所）のもとで、橘研究室研究員としてステージ音響の研究に参加、論文発表や講演会も精力的に行っている。1993年文化庁「芸術作品賞」受賞（イザイのCDに対して）。1994年度村松賞受賞。1995年モービル音楽賞奨励賞受賞。2008年、1月に全国でプラハ交響楽団と共演し好評を博す。12月にはスーク室内オーケストラとの全国ツアーを予定。著書には「聞いて、ヴァイオリンの詩」のほか、母との共著「母と娘の協奏曲」（時事通信社）などがある。

＃ ひとこと

今日、演奏してくださるヴァイオリンの千住真理子さんは、日本画家で京都造形芸術大学学長、2002年大徳寺聚光院別院襖絵を2006年フィラデルフィア松風荘襖絵（ウォーターフォールシリーズ）を完成された千住博氏と、作曲家・編曲家・音楽プロデューサーで、アニメやドラマの音楽も担当する千住明氏がお兄様。一流の芸術家兄妹なのです。

＃ 拍手のタイミングは？

１曲が数楽章に分かれているクラシックの曲は、２度３度聞いてもなかなか終りはわかりにくいものです。いつ拍手をすればよいのかと、そのことばかり気になってしまいますが、指揮者の方が、ゆっくり観客の方を向かれたら拍手をしましょう。演奏後の余韻も大切にできるでしょう。**千住真理子さん**は２曲目だけの登場で最後まで舞台にはいらっしゃらないのです。２曲目が終り、舞台袖に入られても演奏を讃えるために、もう１度、できれば２度、出てきていただくように拍手を続けましょう。**指揮者とドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団**の方々にも「運命」が終った後、盛大に拍手を送りましょう。クラシックでは、拍手が感動を伝える方法です。アンコールも用意してくださっているかもしれません。ドイツの音をもう一曲聞かせていただきたいですね。

＃ 演奏中と退場の時に気をつけて

- 今日はクラシック演奏会ですので、特に、静粛な雰囲気作りに協力してください。
- 記念講堂は、音響がよいので、客席の音は舞台に聞こえてしまいます。気持ちよく演奏していただくために、荷物は、椅子の下にいれて、演奏中に何か物を取り出したり、物を落としたりしないようにしましょう。
- 携帯電話の電源は切りましたか？
- 舞台から、全客席がよく見えます。座る姿勢が美しく見えるようにぜひ工夫してみてください。
- 演奏が終ると早く並ぼうとはやる気持ちがあるでしょうけれど、演奏の雰囲気を味わいながら静かにホールを出ましょう。

SLUB
Wir führen Wissen.
Dresdner Philharmonie